



花表こばと保育園 ☎ 626-6031
FAX 626-6032



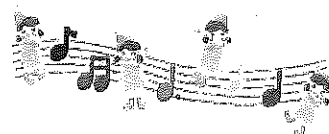
しろ組 ながおめいな さん
いとみお さん
ことり組 おおはしゆうか さん

今年に入り、雪が降ったり、凍てつく日があったり、寒い日が続いています。そんな中コロナ感染の拡大が留まらず、多くの園で休園を強いられています。「明日は我が園」と予防対策に余念がありませんが、当面まん延防止重点措置13日までの間、早朝夕刻の部屋を分け、密を避けるようにしました。併せてお迎え時間の厳守と速やかな降園にご協力くださいますようお願いいたします。先日、幼児組は熱田神宮にお参りに出かけました。子どもたちはどんなお願いをしたのか、ひょっとしたら、コロナ収束を願ってお参りしてくれたかもしれません。

さて、き組さんはあと少しで小学校です。乳歯が抜ける、6歳臼歯がはえる、成長痛で足が痛い等、身体の変化に戸惑う場面がみられます。一人ひとりに説明をして不安を取り除くような言葉がけをしています。家でも話題にしながら、成長する喜びを共有できるといいですね。

今月のうた

「そうだったらいいのにな」
「赤鬼と青鬼のタンゴ」
「風さんだって」



<2月の予定>

- 1日(火) 集金袋渡し(1月延長保育利用者)
- 2(水)、3日(木) 延長保育料集金日
- 3日(木) 豆まき
- 4日(金) 幼児給食費引き落とし日
- 7日(月) 保育実習 ~19日
- 8日(火) あそぼう会
- 11日(金) 「建国記念日」につき休園
- 17日(木) お話し会
- 18~25日(木) 写真掲載
- 24日(木) 誕生会 避難訓練
- 28日(月) ~3月13日(日) 動画配信
〈き・もも組プール〉 2、9、16日

<3月のおもな予定>

- 3日(木) ひなまつり、誕生会
- 4日(金) 新入園児面接、健康診断
- 15日(火) お別れ遠足
- 24日(木) お別れ会
- 28日(月) 卒園式
〈き・もも組プール〉 2、9、23、30日
- 4月5日(火) 入園式



お知らせ

- *「園生活」と題して、保育園での生活の様子をユーチューブに配信します。詳細は後日お知らせします。
- *保育士による写真の掲載をします。期間は2月18日~25日(金)までです。パスワードは18日(金)にお渡しします。
- *名古屋市の年長児が集う「ほいくまつり」は、今年度も中止になりました。き組さんはお出かけする楽しみがなくなり残念です。代わりに記念新聞が発行される予定です。
- *今年度も年度末アンケートをお願いしますが、3月の園だよりに添付しますので、ご協力ください。

ほけんだより

令和4年2月号

まだまだ寒い日が続いていますね。冬は空気が乾燥し、肌のトラブルが起こりやすくなります。子どもは大人よりも肌が乾燥しやすいので、しっかり保湿してあげることが大切です。肌が乾燥するとかゆみの原因にもなるので、子どもの不快感を取り除くためにも、きちんとスキンケアをしていきましょう。また、冬場はやけどの事故の発生件数も多く報告がありますので、気をつけて過ごしましょう。



乾燥肌を悪化させないための対処方法

◎軟膏や保湿クリーム・ベビーローションなどの保湿剤を使いましょう

保湿ケアを行うタイミングは、お風呂上りが最適です。入浴後は水分を拭き取った後、5～10分以内に保湿剤を塗って乾燥対策をするとよいでしょう。朝も保湿剤を塗りましょう。



★子どもの肌はデリケートなので、添加物を抑えた低刺激タイプを選びましょう。

★医療機関で処方された場合には、医師の指示に従いましょう

◎入浴時のお湯の温度設定・洗い方に注意しましょう

①お湯の温度設定は38～40度のぬるめで、長風呂は避けましょう。

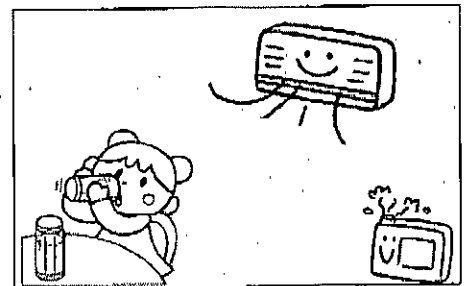
②石けんをよく泡立てて、やさしく洗いましょう。

★スポンジやナイロンタオルでゴシゴシ洗うことは肌に負担がかかってしまいます



◎湿度を適度に調整して、室内の乾燥を防ぎましょう

室内での快適な湿度は40～60%ともいわれています。エアコンなどの暖房器具の使用で、湿度が低くなります。加湿器を併用するなどの乾燥対策をしましょう。



◎水分補給はたっぷり、こまめにとりましょう

保湿は外側からのスキンケアだけでなく、こまめな水分補給で内側からケアすることも大切です。

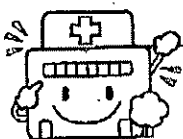
◎衣類は素材に注意して選びましょう

特に肌着は、化学繊維やウールなどの素材は避け、綿や絹などの刺激が少ない素材がおすすめです

爪も短く
切っておき
ましょう



＊赤みやかゆみを伴う場合は、早めに医療機関を受診しましょう！



☆低温やけどに注意☆

ホットカーペットや使い捨てカイロに長時間触れることで起こる「低温やけど」が増えています。痛みを感じにくく、重症化しやすいのが特徴です。肌が赤くなり子どもが痛がゆく感じていたら要注意です。患部を冷やしながら速やかに医療機関を受診しましょう。